



自衛隊栃木地方協力本部

栃木地本本部庁舎前で市街地広報 ～学校に囲まれた立地を生かして～



PR活動中の「りく」

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩一陸佐）は、12月20日（金）、23日（月）及び1月10日（金）の3日間、栃木地方協力本部前において、近隣の高校に通学する高校生に対しティッシュとチラシ配布による市街地広報を実施した。

当日は、栃木地本キャラクター広報戦士とちまも3兄弟の「りく」も街頭に登場し、帰宅途中の高校生が足を止め記念撮影をするなど人気を博し、自衛隊をアピールすることができた。

栃木地本では、「今後も、募集広報イベントを企画し、多くの人に自衛隊の魅力を伝えるとともに親近感を醸成させ、募集対象者が自衛官を志願する良いきっかけとなるようにフォローしていく」としている。

自衛隊でキャリアアップ ～夢が叶いました～



事務所の前で記念撮影！仕事は変わっても
熱い絆は変わらないと再確認した。

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井一陸尉）に、12月26日（木）、北富士駐屯地で勤務する石山 格 一陸士が近況報告を兼ねて訪れた。

石山一士は、自衛官候補生で入隊し、今年3月で任期満了を迎える。今回の近況報告は、自衛隊でキャリアアップし、4月から消防に内定を頂いたとの報告の為に訪れてくれた。本人は、「自衛隊で心も体も鍛え、自分自身を成長させる事ができました。また、自分の夢であった消防に内定を頂くことができ、とても感謝しています」と語ってくれた。担当した広報官は、入隊当時を振り返り、「自衛隊で成長し、自分の目標を叶えた姿に感動しました。残りの自衛隊生活を頑張ってもらおうと、仕事は変わるけれど、今後も石山一士との絆を大切にしていきたい」と語ってくれた。また、石山一士は、「さくら市・20歳の集い」に、自衛隊の制服で参加し、自衛隊のPRに励みたいと語ってくれた。

大田原地域事務所は、「今後も、入校者に対しアフターフォローを継続していくとともに、自衛隊での彼の経験談を募集広報に活用していく」としている。



事務所に訪れた石山一士（左側）と担当広報官（右側：平井一曹）